

協 議 会 会 議 記 録

会 議 名 称	第2回 上里町地域公共交通活性化協議会
日 時	平成28年9月26日(月) 午後2時00分～午後3時20分
開 催 場 所	上里町役所 4階 大会議室
会 長 副 会 長	○高 野 正 道 上里町 副町長 ○百 花 博 美 上里町区長会長
出 席 委 員	○堀 込 明 子 上里町身体障害者福祉会長 ○石 倉 実希雄 朝日自動車株式会社 運輸部課長(※代理出席) ○鈴 木 貴 大 株式会社協同バス 代表取締役社長 ○金 子 秀 和 株式会社協同バス労働組合 執行委員長 ○金 川 新 吾 一般社団法人埼玉県バス協会 課長(※代理出席) ○六 所 健 一 国土交通省関東運輸局埼玉運輸支局支局運輸企画専門官 (※代理出席) ○木 村 良 雄 埼玉県本庄県土整備事務所 道路部長 ○金 子 隆 本庄警察署 交通課長 ○岩 田 伸 司 上里町まち整備課 建設管理係長(※代理出席) ○山 口 圭 子 上里町高齢者いきいき課長 ※敬称略・順不同
欠 席 者	○小 林 了 一 有限会社本庄合同タクシー 代表取締役 ○高 原 昭 一般社団法人埼玉県乗用自動車協会 専務理事 ○神 宮 つぐよ 本庄地区タクシー協議会長 ○花 形 宏 一 上里町老人クラブ連合長 ○久保田 尚 埼玉大学大学院 理工学研究科 教授 ○畦 地 英 樹 埼玉県企画財政部交通政策課 主査
傍 聴 者	0名

<p style="text-align: center;">会 議 次 第</p>	<p>1. 開 会 2. あいさつ 3. 議 事</p> <p> (1) 報告事項</p> <p> 報告事項1 「こむぎっち号」運行及び利用状況 資料1</p> <p> 報告事項2 「こむぎっち号」利用者アンケートの結果について 資料2</p> <p> 報告事項3 「こむぎっち号」OD調査の実施について 資料3</p> <p> (2) 協議事項</p> <p> 協議事項1 「こむぎっち号」の実証実験から本格運行への移行について（案） 資料4</p> <p> 協議事項2 「こむぎっち号」に関するアンケート調査の実施について（案） 資料5</p> <p> (3) その他</p> <p>5. 閉 会</p>
<p style="text-align: center;">配 布 資 料</p>	<p>○資料1：上里町コミュニティバス「こむぎっち号」運行及び利用状況</p> <p>○資料2：「こむぎっち号」利用者アンケートの結果について</p> <p>○資料3：平成28年度利用者OD調査の実施について</p> <p>○資料4：「こむぎっち号」の実証運行から本格運行への移行について（案）</p> <p>○資料5：「こむぎっち号」に関するアンケートの実施について（案）</p>

発 言 者	発 言 内 容 等
<p>会 長</p> <p>高野会長</p> <p>委 員 (運行事業者)</p> <p>事務局</p> <p>議 長</p> <p>議 長</p> <p>事務局</p>	<p>資料確認</p> <p>1. 開 会</p> <p>2. あいさつ</p> <p>3. 議 事 議事に入る。報告事項 1、上里町コミュニティバス「こむぎっち号」運行及び利用状況について (1) 「こむぎっち号」の運行状況についてを運行事業者である(株)協同バスの鈴木委員に求める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者数について 運行開始から早いもので半年が過ぎたところである。会長から利用人数が少ないとの話があったが、中央ルートは増えてきた印象である。一方、北部ルートは利用人数が伸びず、乗務員とのミーティングでも話題として出ている。 ・6月9日に発生した保健センター付近での接触事故について 保健センター敷地内の停留所に道路から右折して進入する際、右側後方から追い越しをしてきた車両と衝突した。女性の乗客が2名いたが、幸い怪我はなかった。乗務員が腕等の怪我により1週間程度通院した。前回報告した事故と合わせて交通事故が2件発生してしまった。運行には十分注意をしているが、一つは信号無視、もう一つは後ろからの追突となり、先方の100%過失だが、このような事故が発生してしまったことをお詫び申し上げる。今後も十分に安全運転と、何よりも乗客へのサービス向上に努めて参りたい。 ・町内の交通状況について 余談だが、上里町の群馬銀行へ立ち寄った際、30秒に1名位のペースでお客様が入ってくる状況であった。その約半分位が60歳以上の方で、中には自分で歩くのも辛そうであるのに、自分で車を運転し来行していた。今後、もしかしたら高齢の方々の運転による事故も増えてくるかもしれない。少しでも”こむぎっち号”が便利になるよう一生懸命努力し、そういった方々の生活の足になればなと思っている。 <p>(資料1(2)について説明)</p> <p>説明にもあったが、利用実績は少しずつではあるが増加している。以前の町内巡回バスの1日あたりの利用者数を、4ヶ月で超えることができた。しかし、以前の巡回バスから車両台数や運行日、運行時間など拡充しているため、町としては更なる利用者の増加を目指しているところである。</p> <p>報告事項1に対する委員の質問を受け付ける。</p> <p>(質疑なし)</p> <p>続いて報告事項2「こむぎっち号」利用者アンケートの結果について、事務局の説明を求める。</p> <p>(事務局説明)</p>

議 長	<p>報告のとおり、利用者アンケート調査による満足度は高く、満足度以外の項目を見ると利用者の傾向やニーズなどが分かってくる。運賃については安いという意見もある。</p> <p>全体を見ると、早急に取り組むべき改善点があるというより、利用者の利用の仕方やニーズ、OD調査や今後予定している利用をしない方へのアンケート調査等で探っていく必要があると思う。</p> <p>利用者アンケート調査について、委員から意見や質問はあるか。</p>
委 員	<p>他の市町村と比べ、3ページの年齢構成は非常に特異的で、70代80代の利用が非常に多い。他の市町村では80歳代の利用はほとんどない。逆に幼児と30代は親子の可能性があるが、これが他市町村と比べて少ないと思う。幼児と30代がいないのは、町内に総合病院がないことが大きな原因かと思う。通常、子供の小児健診などで総合病院や保健センターへ行くというのが他市町村では多い。</p> <p>また、5ページの主な利用目的では買い物が圧倒的に多い。これは、こむぎっちゃん号の特質的なところである。他市町村の場合、この割合で通院目的が入ってくる。</p> <p>利用目的の「その他」について、「仕事・アルバイト・通学」が47.8%となっているが、これは「その他」の内の47.8%か。</p>
事務局	はい。
委 員	<p>となると、人数では11人となる。自由意見に「時間が早い」という意見があったが、むしろもっと早い時間に運行してほしいという意見が出てくるかと予想していた。だが、時間がもっと遅くて良いとなると、仕事等に使う気はないということ。今後、フルモデルチェンジかマイナーチェンジをする際、こむぎっちゃん号を買い物に便利なよう、特化したものに変えていくことも選択する際の材料のひとつになると思った。</p>
事務局	<p>利用目的の「その他」のうち、「仕事・アルバイト・通学」は23名中の47.8%で11名となる。一方、自由意見欄に始発が早いと回答したのは、老人センターかみさと荘の利用者である。また、利用目的が仕事という方の多くは、イオンや保健センターなどへ町外から仕事として来たという方であったと思う。そのため、委員から出た意見の通り、通勤・通学に配慮することより、買い物に特化したバスにしていくことが考えられる。</p> <p>現時点での利用者層は高齢者である。また、高齢者の外出時間帯は、朝遅くから夕方方の早い時間帯である。そのため、町内巡回バスから移行する際も、利用者層は同じになると考え、現行の運行時間とした経緯がある。今後、時刻表や運行時間の設定については、やはり利用者の構成や利用実績、また起点終点を調べるOD調査などでデータ取りをしっかりと行い、利用者の動向を見ていきたい。</p>
議 長	他の市町村との比較についてはどうか。
事務局	<p>他の市町村の年齢構成については、把握をしていなかった。他市町村に比べ、80歳以上の利用が多く、幼児、30歳代の利用が少ないということを今回初めて知った。こういった上里町の特質を踏まえ、今後のどのような「こむぎっちゃん号」にしていくのかを考えていきたい。</p>
議 長	他に質疑がないため、報告事項3「こむぎっちゃん号」OD調査の実施について、事務局の説明を求める。

事務局	(事務局説明) ・調査の実施時期については、安定したデータ取りを行うため、毎年同時期の9月、10月に行う予定。 ・委員への調査結果報告は、年度内に速報値を知らせるか、来年度最初の協議会で報告する。
議長	ただ今の説明に対し委員の意見、質問等を受け付ける。
	(質疑なし)
議長	OD調査の結果は来年度の協議会で報告ということで良いか。
事務局	結果については、まとめ次第委員へ郵送等で報告をすることもできる。
議長	では、年度内中にまとめ、各委員へ郵送等で知らせすることとする。 以上で報告事項を終了する。 次に、本日の協議事項に移る。協議事項1「こむぎっち号」の実証運行から本格運行への移行について事務局の説明を求める。
事務局	(事務局説明)
議長	ただ今、事務局から説明があったとおり、利用者アンケートの満足度は高く、運行についても日常的な遅延などはなく安定した運行ができています。また、運行開始から半年ではあるが、着実な利用者数の増加も見られているところである。 今後の課題はあるが、これについては事務局からの提案があった。改善の必要性も含めて検討し、すぐに取り組める場合は手をつけていかなければならない。 では、実証期間中の検証により来月10月1日からコミュニティバスこむぎっち号を本格運行としたいが、これについて委員の意見等を受け付ける。
委員	確認だが、資料1で南部ルートは4月から5月にかけて30人前後、北部ルートは5月から6月にかけて60人位減っている。この辺の思い当たる理由はあるのか。
事務局	減少理由の把握はできていない。
委員	把握していないのであれば、現状は増えてきているため、今後の調査により調べていくということか。
事務局	支線利用者のニーズについては、協議事項2で触れるが、利用しない方へのニーズ調査を予定している。調査では居住地も伺う予定。支線エリアの方々がこういったものを求めているのか知っていく必要がある。そこから北部、南部ルートの利用者数の増加につなげられればと考えている。
議長	よろしいか。
委員	はい。
議長	他に意見はないか。
委員	支線の利用者が月別で減ったことについて、私自身、こむぎっち号を運転している立場から言うと、高齢の方で毎日のように乗車していた方が、人数の減ってきた頃か

議 長	<p>ら乗ってこなくなった。高齢のためかとも思うが、そういった方がいたのは事実。</p> <p>高齢の方が乗らなくなったことが数の変動につながっているのではないかとのことであった。</p> <p>それでは他に意見もないようであるため、こむぎっち号の実証運行から本格運行への移行案の承認の決を取る。</p> <p>承認者の挙手を求める。</p>
一 同	(全員挙手)
議 長	<p>全員の挙手により、原案のとおり承認された。</p> <p>続いて協議事項2に入る。「こむぎっち号」に関するアンケートの実施について案の説明を事務局に求める。</p>
事務局	(事務局説明)
議 長	<p>このアンケートは、前回の協議会でこむぎっち号に乗らない人に対しアンケートを行い利用しない理由と、その理由に対する改善の余地を探って利用者に合ったバスを模索すべきという委員からの提案により実施するものである。</p> <p>アンケートの実施方法や諮問項目等については、まだ十分に詰めてはいないため、項目、アンケートの実施方法、対象者等について意見を伺いたい。</p>
委 員	各団体というのはどういう団体なのか。
議 長	具体的な団体名はあるのか。
事務局	<p>民生児童委員を考えている。委員本人と、委員自身は恐らくまだ自分で車が運転ができる状況であると思われるため、利用しない理由が「自分で運転できるから」という事のみとならないよう、設問を考えたい。</p>
委 員	<p>そうすると、年齢的に偏りが出ると思う。老人センター利用者についても同様に高齢者の意見となる。前に出た意見にもあったとおり30歳台の若い年代への調査はどのように取ろうと考えているのか。</p>
事務局	<p>民生児童委員本人の回答と合わせて、委員の家族やケースとして持っている一人暮らし高齢者や一人親世帯へも、協力していただけるようであればアンケートを実施したいと考えている。</p>
委 員	了解した。
議 長	<p>他に意見等はないか。質問の項目や、目標人数についても何かないか。特に若い人の回答を得るための方策などないか。</p>
委 員	<p>保健センターには停留所があり、バスを利用できる環境ではある。来所する方のバスを利用しない理由は、「車が運転できる」、「時間が合わない」など、色々あると思う。もし、150人調査する中の何%かは若い世代の方の意見が必要であれば、保健センターでは健診なども行っているため、そういう場を利用して調査を実施しても良いと思う。</p> <p>それと、北部ルートの利用者が少ないことについては、地域の特性もあるとは思いますが、やはり利用しない地域のところを重点的に、調査を取る割合を多くすることも、</p>

	有効なアンケート調査につながると思う。
事務局	<p>保健センターの利用者に対する調査実施については、その通りであると思うため検討をさせていただく。</p> <p>また、もう一点の北部ルートについても、他の委員からあった通り、全体として増加傾向であるとしても、それは中央ルートが大きく伸びているのであって、北部、南部ルートについては残念ながら大きく伸びていないという現状がある。北部ルートについて、今回の利用していない方へのアンケートを取ることで、こういったところに課題があるのか検証できる方法を検討していきたいと思う。</p>
議長	<p>対象者は、民生児童委員の委員とその家族や保健センターの健診に来た方たちとすることだが、まだ時間があるため検討ができると思う。</p> <p>実施時期はいつ頃を予定しているのか。</p>
事務局	現時点では、2月頃を予定している。
議長	2月頃であれば、まだ時間があるので、設問や対象者については事務局で検討をするということではよろしいか。
一同	はい。
議長	調査は来年の2月頃に実施し、集計し結果は次年度という事になるのか。
事務局	実施が2月であるため、来年度初めの交通協議会で報告をすることになると思う。
議長	他に委員から何かあるか。
堀込委員	利用者としての意見である。運転手と乗る人も慣れてきたという感じで、安全に乗り降りに気をつけてくれるので大変感謝している。皆さんもよろしく言っていた。ありがとうございます。
議長	<p>それでは、委員からの意見は出尽くしたため、「こむぎっち号」に関するアンケート実施については、いくつか出された意見に配慮し、来年の2月の実施に向けて対象者や設問の項目等々は事務局に一任という条件で、案の承認の決を取りたいがよろしいか。</p>
一同	はい。
議長	それでは、「こむぎっち号」に関するアンケート実施案について、承認者の挙手を求める。
一同	(全員挙手)
議長	<p>委員全員の挙手により「こむぎっち号」に関するアンケート実施案については原案の通り承認された。今年度中に実施するため、事務局で進めるように。</p> <p>次に、協議事項3のその他について、事務局から何かあるか。</p>
事務局	<p>事務局から2点連絡をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 次回の交通協議会については年度内に協議する事項が今のところないため、基本的には今回が今年度最後の協議会となる。

議 長	<p>・会議録の確認と公開は、次回の協議会まで期間が空く可能性が高いため、整い次第委員の確認を経て公開とする。</p> <p>その他ということで、各委員から何かあるか。</p>
委 員	<p>交通協議会からは話がそれてしまうかもしれないが、他の委員からも話があったとおり、バスの運行が安全に行われることが、この地域の模範になっていると思う。</p> <p>交通安全に関する放送や看板などと共にこむぎっち号には交通安全対策に協力してほしい。また、すべてのコースがウニクスへ行くため七本木・ウニクス周辺の交通安全対策にもなると思う。ご検討いただきたい。他の委員からも、何か良い案があれば出して頂きたい。</p>
議 長	<p>委員の言うように、埼玉県内でも上里本庄管内はいつもワースト1位2位を争っている状況である。町でも町長を筆頭に警察と共に事故を無くそうということで取り組んでいる。これからも交通安全対策として警察と協力して取り組んでいかなければならない。提案としては車内にそういった啓発の看板等が設置できないかとの事であった。それは、事務局の方で少し相談、協議をしてもらうということによろしいか。</p>
委 員	はい。
副会長	5. 閉 会

以上